



『ROOKIES—卒業と第二種電気工事士』の関係



みなさん、こんにちは。いつも安全作業ありがとうございます。
『景気のいい時は会社が伸びる、不景気の時は人が伸びる』と言われております。
時間のある今、しっかり自分を見つめ直し、得意を伸ばし、苦手を補正していただきたいと思います。



実は私、先日、第二種電気工事士の筆記試験に挑戦してまいりました。
試験にあてた準備期間は1週間。実際は切羽詰まった3日前。そこから猛烈に過去問題集に挑戦して
わけがわからないところは参考書で確認し、公式をうる覚えする。全然わけがわからない数式はあきらめる。
工具とかの名称問題は機械屋でも電気屋でも同じなので徹底的に覚える。
まさに『得意を伸ばし、苦手を補正する作戦』で臨み、60点以上合格のところ、自己採点74点で一次試験突破
しました！

次は2次の実技試験です。これは『やつつけ』では突破できません。『コツコツ作戦』に切り替える必要があります。
来年みんなが続々と受験し合格するような、**必勝実技練習キット**の製作を急ぎます。
とにかく1ヶ月間仕事が終わってから、1時間このキットで黙々と練習することで、実技試験が突破できるという
必勝パターン練習法を編み出します！！

まあ、そもそも何故自分がこんなことをやっているかと申しますと、昨年工事で電気の配線ミスが発生し、みんなが
とても悔しい思いをする中で、『こうなったら、安全対策として、社員全員電気工事士の資格を取ろう！！』という、
機械屋の我々としては無謀と思える意見が会議の中で出て、熱くなっていた私は思わず『よっしゃ、やっтарろう！！』
『やればできる！！』とと思ってしまい、引っ込みもつかなくなったので、こうして先陣を切って挑戦しているわけです。
『マイナスな出来事を陽転させて熱く燃える』これはテクア技研の重要なテーマの1つとして挙げられると思います。
まず私が突破し、近年中に全員突破させます。

熱いテーマといえば、今巷では **映画『ROOKIES-卒業-』**が大ヒットしています。
TVで放映していたドラマの映画版です。私はTVでは1度も見たことがなくて、このドラマの存在自体も知らなかったの
ですがたまたまワイドショーを見ていたら、この映画の舞台挨拶の様子が出ていて、
『それが凄かったです！！物凄く心が動いたんです！！』

熱血先生役の佐藤隆太さんの挨拶が、映画を熱く強くアピールするような感じではなく、ただただあふれる気持ちを素直
に正直に自然に伝えている、伝えざるをえない、そんな感極まった舞台挨拶だったんです。
そして次に挨拶したエースピッチャー役の市原隼人さんも『ありがとうございました！！』といったままで、いつまでたっても
頭をあげなかったんです。
このお辞儀は観客だけでなく、何かとても大きなものに対してのお辞儀だと感じました。

『これは何かあったに違いない！！』

この二人の舞台挨拶を見てそう思い、ROOKIESのROの字も知らなかったのに、とにかくこの映画が見たくなり、第二種
電気工事士の勉強そっちのけで映画館に駆け込みました。
予想どおり、素晴らしい映画でした！何が素晴らしいかというと、役者が役の中で感動する以前に、この撮影現場での
素の自分に感動してしまっていて、どんなベテラン役者も出せないような迫力と人間味を出していて、それがスクリーン
から観客にピンピンと伝わっていたのです。

まさにこれこそ**『ルーキーズ現象』**と言われる由縁だと感じました。
出演していた全員のイケメン俳優たちが、みな口を揃えて**『今このときこのメンバーだからこそ出来た奇跡』**といっ
ています。
われわれも素晴らしいチームワークでこの長い不況を感動のドラマの前フリにしたいと思います。

絶対合格するぞ！！第二種電気工事士！！！

感謝！ 羽原篤史



PS.『パッチギ！』という映画が『ルーキーズ現象』を読み解くカギではないかと思っています。井筒和幸監督の名作です。
是非レンタル屋さんで借りてみてください！！

